

# 施策分析シート（平成19年度）

No1

<b>施策名</b>	広聴機能の充実	<b>施策No</b>	13-02	<b>部課名</b>	総務企画部秘書課
				<b>課長名</b>	高梨博和
				<b>内線</b>	2160
<b>関連部課名</b>	総務企画部秘書課				
<b>行政評価</b>	<b>分野</b>	計画推進のために[ ]			
<b>事業体系</b>	<b>政策</b>	区民の主体的な区政参画と連携強化[13]			

**目的**

行政サービスに対する区民のニーズを把握するために、要望等を日常的に聴取する「区民の声」と、区政に対する区民の要望や意識を調査し、区政運営の基礎的データとして活用するための「区政世論調査」を中心に広聴機能の充実を図り、区民の立場に立った区民本位の区政の実現をめざす。

指	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		16年度	17年度	18年度	19年度	目標値 (28年度)	
標	「区民の声」対応率	100%	100%	100%	100%	100%	回答した件数の割合

**現状と課題（指標分析）**

- ・区長へのはがき、文書、電話、来所、FAX、電子メールにより、区民からの意見・要望・質問・苦情などを受け付け、所管課へ対応依頼等を行っている。
- ・荒川区に居住する満20歳以上の区民1,000人を対象に、区政世論調査を実施している。
- ・インターネットを使用したモニター制度で、モニター専用掲示板への書き込み（随時、区への意見、要望を寄せる）アンケート調査などを行っている。
- ・荒川区の魅力を区民に広く周知し、区政への関心を深めていただくとともに、区施設、区事業に対する区民意見を聴取するため、随時、施設見学会を実施している。

**今後の方向性**

[平成19年度]

- ・「区民の声」と「区政世論調査」はいずれも重要な広聴手段であり、これらの事業を中心に今後とも効果的・効率的な手法を採り入れながら広聴活動の充実を図る。
- ・「荒川区再発見ツアー」など、魅力ある施設見学会を実施して、見学会への参加者の拡大を図り、より多くの区民意見を聴取する。

[平成20年度以降]

- ・「区民の声」と「区政世論調査」はいずれも重要な広聴手段であり、これらの事業を中心に今後とも効果的・効率的な手法を採り入れながら広聴活動の充実を図る。
- ・施設見学会については、区民の参加状況を見て、引き続き実施のあり方を検討する。

施策の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
B	B	区民の声や区政世論調査は区民の意見や要望を広く収集し、区政の改善に結びつけるものであり、優先度が高い。

# 施策分析シート（平成19年度）

No2

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		17年度	18年度	前年度 設定	今年度 設定	
荒川ガーデンパーティー	01-01-11	0	862	B	B	これまでと異なる広聴機能であり、内容を充実した上で、継続実施していく。
パブリック・コメント制度の導入	01-01-21	0	0	C	B	現在、各所管において既に実施しているところであるが、行政手続法改正の趣旨を踏まえ、区として制度化を図る必要がある。
あらかわ・Eモニター	01-02-07	0	0	C	C	「区民の声」「区政世論調査」を補完する事業として、テーマを絞った広聴活動ができるといった利点がある。費用対効果の点からも優れている。
区政世論調査	01-02-08	2,258	1,942	B	B	区の重点事業や今後取り組むべき課題を把握するために、区民全体を対象とした広聴活動として効果的な事業である。
区民の声	01-02-09	35	37	A	A	「区民の声」は広聴の中核をなす最も効果的かつ重要な手法である。区民の意見や要望を通して区政の改善が図れるよう、各所管部署との連携・調整をより一層強化していく。
施設見学会（庁舎含む）	01-02-12	0	186	C	C	庁舎見学会は、小中学生への教育の一環としても、今後とも維持して実施すべき事業である。施設見学会については、区民の参加状況を見て、実施のあり方を検討する。
合 計		2,293	3,027			